

1/25 第4回

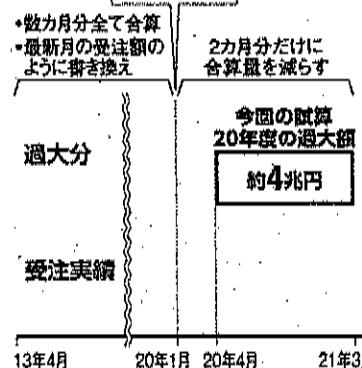
20年度統計 4兆円過大か

13～19年度さらに三額

本社試算

統計が過大になるイメージ
業者が過去の未提出分も含め
数力月分の受注実績を提出した場合

会計検査院が問題だと指摘



・数力月分全て合算

・最新月の翌年額の
ように書き換える

国土統計統計「建設工事受注動態統計」の不正をめぐり、国土交通省の本省職員が受注実績を無断で書き換えたと国調査としていた。しかし、2020年度の統計が約4兆円過大になっていた疑いがあることがわかった。実績全体の5%に相当し、直線の訂正が必要となる。13～19年度は「直线上したデータの数が過大で、それが大幅に過大だった」といはれる。

▼29面=「正確と書くが」解説

公表データを複数、朝日新聞が複数の専門家の助言を受けて計算したとの統計の開始当時に標本の抽出方法の設計で携わった横浜市立大の土屋隆裕教授（統計研究会所長）は「試算の既定は合理的で、概

るものではない。統計法は、眞実に反する基幹統計を故意に作成することを禁じており、罰則もある。

同省は20年度の統計を二回改訂しており、朝日新聞はこの間を用いて試算し、公表してある。

改訂前

改訂後

改訂後

改訂前